

日本海沿岸の17都市で構成される「日ロ沿岸市長会」と、ロシア極東シベリアの18都市からなる「ロ日極東シベリア友好協会」では、1970年から、両地域の友好親善と経済協力を促進し、両地域の発展を図ることを目的としてこれまで25回にわたり日ロ沿岸市長会議を開催してきました。

本年8月にウラジオストク市で開催した第25回日ロ沿岸市長会議では、「困難な経済状況における両地域諸都市間の発展への方策」、「日ロ両地域の都市間での観光交流活性化における協力関係の発展」の2つの議題について、日ロ双方の経済・観光関係者の参加を得て具体的な意見交換を行いました。

この会議で審議された内容を踏まえ「日ロ沿岸市長会」では、日ロ両国間の協力関係発展に向けた重要な課題の中でも特に本会が寄与できる分野にかかり、以下の事項を要望いたします。

### 1. 日ロ地域レベルにおける観光交流の促進

現在、地方から大都市圏への人口流出が加速しており、地方活性化のために海外の活力も取り入れ、経済・観光・文化などの分野で地域レベルの交流を推進することが「地方創生」の取り組みのひとつになると考えられます。

特に観光は、我が国の経済活性化に大きな展望のある分野であるものの、日ロ両国間の旅行者数はまだ少なく、今後の観光交流拡大が重要課題となっています。本会は、これまでに構築したネットワークを活用し、互いの都市の魅力を発信するなど、交流人口の増加に向けた活動をしていく意向ですが、インバウンドの拡大において、日本海沿岸地域の本会会員市を含む魅力ある広域的な観光周遊ルートの開発が欠かせないと認識しています。

地域レベルでの取り組みと並行し、観光分野における日ロ地域間交流のさらなる促進には、

- 渡航手続きの簡素化・迅速化
- 広域的な観光周遊ルートの整備

が不可欠であり、この点において特段のご支援・ご配慮をいただけますようお願い申し上げます。